

# あいわみなと通信

特別号

暮らしを支える港湾と空港の話

## ● 小松島みなとオアシス防災訓練

平成23年10月9日(日)、昨年に引き続き2回目となる「みなとオアシス防災訓練」を、小松島みなとオアシスにて行いました。「小松島みなとまちづくり協議会」主催で、関係機関、地域住民、地元高校生など約70名の協力を得て進められました。

「小松島みなとまちづくり協議会」は、徳島小松島港本港地区を中心に、地域資源を活用した継続的な賑わいの創出活動や、人材発掘などの地域活性化策を推進するため平成22年10月に設立されました。

防災訓練は、NPO法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま理事長の挨拶、全体説明の後、各班ごとに別れて、要援護者を実際に訪問して安否を確認する訓練や、応急手当の講習会、みなと交流センターkocolo来場者を対象とした避難訓練、防潮堤を開閉するなどの漂流物対策訓練を行いました。

みなとオアシスとその周辺施設を利用した活動が、地域振興のみでなく、防災面でも地域に貢献できることを確認しました。本訓練では、自主防災会などの取り組みに役立てられるよう自助、共助に重点を置いた訓練を目指しています。



各班個別説明



開会式



全体説明

## INDEX

- 小松島みなとオアシス防災訓練 ..... 1
- 各種訓練の紹介①「避難訓練」「漂流物対策訓練」..... 2
- 各種訓練の紹介②「要援護者対応訓練」「応急手当講習会」 ..... 3
- 各種訓練の紹介③「防災用DVD講習」 ..... 4

## ● 各種訓練の紹介①

### 避難訓練 —NPO法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま—

みなと交流センターkocoloでは、来場者を対象とした避難訓練を行いました。  
地震発生・津波襲来中との想定の下、NPO事務局職員が館内放送で呼びかけを行い、みなと合同庁舎を津波避難場所と想定して、訓練に賛同頂ける方と共に徒歩・駆け足・全力走などの方法にて避難しました。  
訓練では、避難場所や所要時間、安全・迅速な避難方法の確認を行いました。

#### 参加者コメント等

- ・避難に要した時間は、40代女性の徒歩で約5分、70代男性・20代女性の駆け足で約3分、20代男性の全力走で2分程度であった。負傷した人たちの搬送を考慮すると、実際にはかなり時間がかかる。
- ・普段のkocoloには、今回の訓練よりも高齢の方の割合が高く、また、近隣の公園等で遊ぶ市民や子供たちへの津波襲来の周知も必要となる。避難支援をいかに適切に行うかが重要な課題。



避難状況



避難場所到着

### 漂流物対策訓練 —徳島県、小松島市産業振興課、小松島港湾・空港整備事務所—

漂流物対策訓練として、防潮堤の開閉方法、及び開閉時に障害となるゴミの清掃活動を行いました。  
防潮堤は、台風などによる高波や高潮、津波等を防ぎ、背後地、人命、財産及び社会経済活動を守るために整備されています。  
防潮堤が開いた状態では、瞬時に海水が流れ込み、避難途上の人命や、沿岸域の家屋・家財等の流出など被害は予想外に拡大します。  
避難で大混乱が起こる中、限られた時間での防潮堤の閉鎖には多くの危険が伴いますので、常時閉鎖や自動化が検討されております。一般の方にも防潮堤の役割を知ってもらうため、本訓練では開閉方法等の確認を行いました。

#### 参加者コメント等

- ・開閉方法が施設ごとに様々で、油圧ハンドル等がないと開閉困難なものも多い。急な対応は難しい。
- ・津波で流されるようなゴミ等が放置されないように、日ごろから良好な環境を保つ臨港地区の清掃活動が重要。



防潮堤開閉方法



周囲の清掃活動

## ● 各種訓練の紹介②

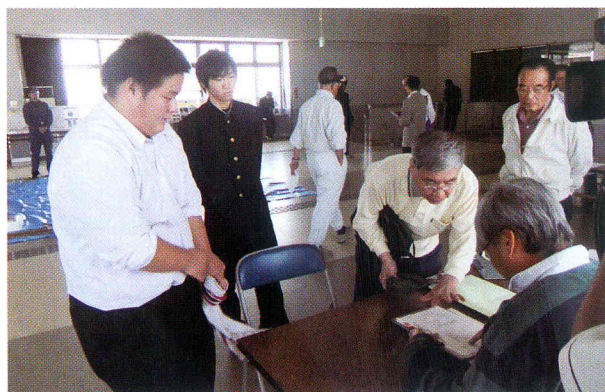
### 要援護者対応訓練 —小松島市福祉事務所・介護福祉課、小松島高校、民生委員等—

地元の民生委員5名、小松島市職員4名、小松島高校生11名が、6班に分かれて各班2～3箇所の要援護者宅を訪問しました。

地震発生時に安否確認に当たる事になっている民生委員と共に、安否確認と防災訓練の説明、非常食の配給を行い、災害時に予定している避難場所や、経路の聞き取りを行いました。今年9月に新たに設置された、小松島高校の防災クラブ員は、要援護者宅で直接会話をして現状を知り、防災に対しての今後の課題等を考える機会になりました。

#### 小松島高校生コメント

- ・民生委員さんと共に回ったお宅で、要援護者の方や家族の方々と直接会話して、安否確認や防災訓練の説明などを行い、多くの事を学びました。
- ・小松島市は海が近いので、津波には常に気をつけなければならないと感じました。
- ・他にも避難できる場所をたくさん確保しておく方がよいと思いました。
- ・地震発生時にうまく対応できるかどうか不安だったので、今回訓練に参加できて良かったです。



安否確認を終えた防災クラブ員からの報告

### 応急手当講習会 —小松島市消防本部—

今回の訓練参加者を対象に、消防隊員による応急手当講習会を実施しました。

棒と毛布を使った応急担架の作成方法や、毛布を使った一人で救護者を搬送できる方法、包帯等を用いた止血、骨折の対応方法を学びました。

応急手当は、地震等の被災時以外にも、事故など様々な場面で突発的に必要となる初動対応です。間違った救護方法ですとケガや症状が悪化する場合があります。参加者は熱心に、いざというときに役立てられるよう、正しい救護方法を学んでいました。

#### 小松島高校生コメント

- ・身近な物品や簡単な方法で応急手当ができるので練習しておこうと思いました。
- ・止血や骨折したときの対応について、とても勉強になりました。
- ・自分にもできることがあると言う事がわかって、その方法を今後も忘れないように覚えておこうと思います。



応急担架の作成方法



頭部の止血方法

# ● 各種訓練の紹介③

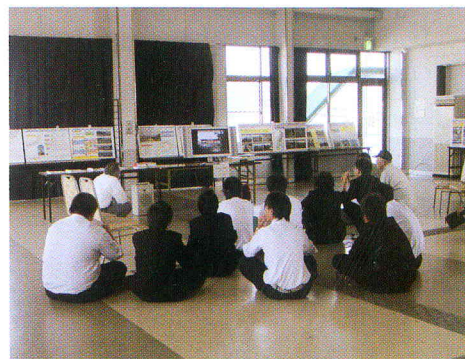
## 防災用DVD講習

—小松島港湾・空港整備事務所—

各班毎の防災訓練の最後には、防災用DVDを使用した講習会を行いました。

地震・津波への備え、災害が起こった場合の対応など、大きく4項目(①近い将来発生する地震は、②災害時重要な共助、③整備が進むライフライン、④家族の命を守る耐震補強)について紹介し、参加者への啓発活動を行いました。

防災用DVD:日本に住むための必須!!防災知識  
(社団法人 土木学会発行)



## 各種訓練のタイムスケジュール

訓練	kocolo防災訓練		要援護者対応訓練	漂流物対策訓練	防災パネル等展示
主な参加機関	NPOこまつま 小松島港湾 (地域住民)	小松島市消防本部	小松島市介護福祉課 民生委員 小松島高校	徳島県 小松島市産業振興課 小松島港湾	小松島港湾
内容	避難訓練	応急手当講習	情報提供、物資配給	防潮堤の開閉 防潮ライン周辺の清掃	防災用パネル展示 防災用DVD放映
場所	kocolo→合同庁舎	kocolo 2階	要援護者宅	防潮ライン	kocolo 2階
9:00	9:00 準備開始 9:20 開会式 kocolo 2階	9:30 参加者説明会	9:30 参加者説明会	9:30 参加者説明会	9:20 パネル展示等
10:00	10:00 避難開始	11:00 講習会	10:00 訪問開始	10:00 ラインウォーク	
11:00	11:00 終了 講習会	11:30 終了	11:00 終了 講習会	11:00 終了 講習会	11:30 防災用DVD講習
12:00	12:00 閉会式 12:10 終了 12:30 反省会				12:00 終了

## 訓練成果と主要な意見

今年の訓練では、「集客施設に集まる人々の避難訓練」、「津波による漂流物を減らすための防潮堤の開閉作業や清掃活動」など、みなとオアシス周辺での日々の活動に繋がる部分を中心に取組みました。ちなみに昨年は、「浮棧橋を利用した小型船による海上輸送訓練」や「緑地のオープンスペースでの炊出し訓練」など、災害時のみなとオアシスの施設の有効性を検証しました。

みなとオアシスの各種施設を災害応急対策へ有効に活用すると共に、地域の活動団体等を中心に市民が協力して「日頃からの防災意識の向上」、「基本に立ち返った防災活動」に取り組むことが大切です。地元高校の防災クラブが参加する「要援護者の安否確認訓練」など、徐々にその輪を広げれば、今後は避難所のボランティア活動などにも広く応用でき、「みなとオアシス」と「地元学生及び市民」が率先して地域を守る共助の芽生えに繋がります。

訓練以上の実践対応は、なかなか期待できません。地域の防災・減災には、出来ることから1つずつ行っていく地道な訓練の継続が重要です。

発行:小松島みなとまちづくり協議会

(平成23年度事務局:国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 TEL:0885-32-3357)

総会構成員

徳島大学、小松島市、小松島青年会議所、小松島商工会議所、小松島漁業協同組合、小松島高校、日本通運(株)小松島支店、共同港運(株)、小松島市中心市街地活性化検討会、みなとまちづくリマイスター、NPO 法人港まちづくリファンタジーハーバーこまつま、徳島県